
magicolor[®] 8650

**Linux プリンタ
ドライバ使用ガイド**

プリンタドライバの動作環境

プリンタドライバのインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

OS	Red Hat Enterprise Linux 4、SuSE Linux 10.1
OpenOffice	Version 1.1.5
CUPS	CUPS 1.1 (Red Hat Enterprise Linux 4 用)、 CUPS 1.2 (SuSE Linux 10.1 用)
コンピュータと プリンタの接続方法	USB 接続、パラレル接続、 ネットワーク接続 (10Base-T/100Base-TX/1000 Base-T)
メモリ	OS が推奨する環境以上 (128 MB 以上を推奨)
ネットワーク	LPR (queue: Print)
	AppSocket/HP JetDirect
	IPP
ハードディスク 空き容量	256 MB 以上





この章では、Red Hat Enterprise Linux 4 での操作を例に説明しています。




OpenOffice 用プリンタドライバを使用する場合、Red Hat Enterprise Linux 4 標準の OpenOffice 1.1.2 には対応しておりません。OpenOffice 1.1.5 を Linux 関連 Web サイトよりダウンロード、およびインストールしてから OpenOffice 用プリンタドライバをインストールしてください。

PPD ファイルをコマンドラインからインストールする

 プリンタドライバのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

 PPD ファイルのインストールにはルート権限が必要です。

1 入手した PPD ファイルを “/usr/share/cups/model” にコピーします。

 OpenOffice から印刷するときは、「KO8650opn.ppd」を使用してください。それ以外の場合は、「KO8650JX.ppd」を使用してください。

OpenOffice から印刷する方法については、「OpenOffice の場合」(p.29) をごらんください。

2 アプリケーションから「システムツール」－「GNOME 端末」を選択します。


3 “/etc/init.d/cups restart” と入力します。



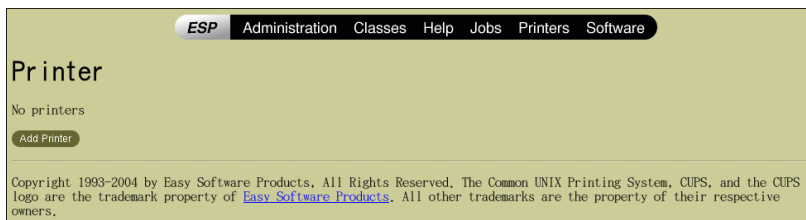
```
root@zeon:~  
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 端末(T) タブ(T) ヘルプ(H)  
[root@zeon ~]# /etc/init.d/cups restart  
cups を停止中: [ OK ]  
cups を起動中: [ OK ]  
[root@zeon ~]#
```

4 GNOME 端末を終了します。

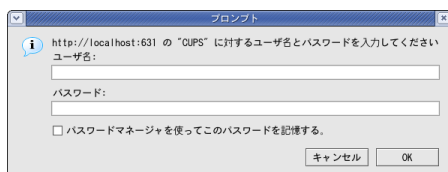
プリンタの追加

 PPD をコピーしたあとは、必ず cups を再起動してください。

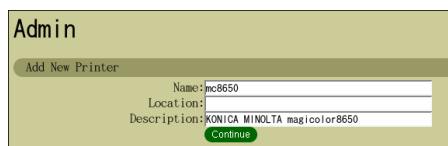
- 1 ブラウザを起動します。
- 2 URL に “http://localhost:631” と入力し、[Enter] を押します。
CUPS Administration Web Page が表示されます。
- 3 [Manage Printers] をクリックします。
- 4 [Add Printer] をクリックします。



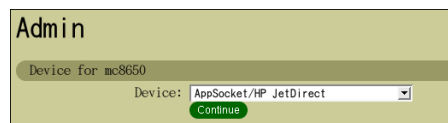
- 5 ルート権限のユーザ名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。



- 6 プリンターの名称、設置場所、説明を入力して、[Continue] をクリックします。



- 7 「Device」リストからデバイスポートを選択して、[Continue] をクリックします。



- TCP/IP の場合 : 「AppSocket/HP JetDirect」、「Internet Printing Protocol (http)」または「LPD/LPR Host or Printer」を選択
- USB 接続の場合 : 「USB Printer #1」を選択
- パラレル接続の場合 : 「Parallel Port #1」を選択

- 8 USB 接続またはパラレル接続の場合、手順 9 へすすみます。

デバイスの URL を以下の形式で入力します。socket://<プリンタ名もしくはプリンタの IP アドレス> [ポート番号]



入力例：

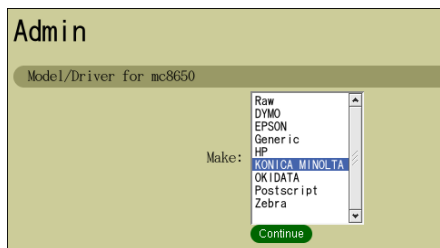
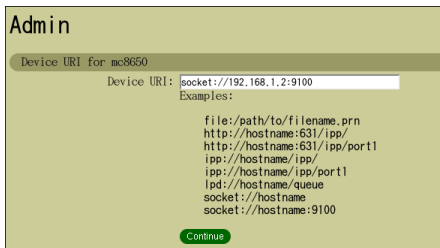
プリンタの IP アドレスの場合：socket://192.168.1.2:9100

プリンタ名の場合：socket://Hostname:9100

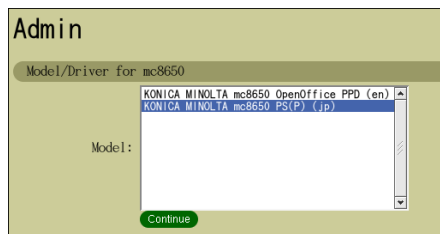
プリンタ名は IP アドレスで代用できます。また、ポート番号は省略することができます。

- 9 [Continue] をクリックします。

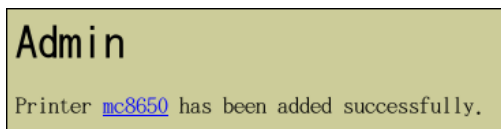
- 10 「KONICA MINOLTA」を選択して、[Continue] をクリックします。



- 11 「KONICA MINOLTA mc8650 PS(P) (jp)」を選択して、[Continue] をクリックします。



以下のメッセージが表示されます。



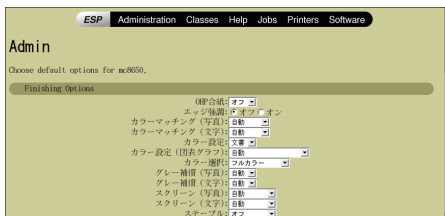
プリンタドライバの設定

設定ページの表示

- 1 ブラウザを起動します。
- 2 URL に “http://localhost:631” と入力し、[Enter] を押します。
- 3 [Manage Printers] をクリックします。
設定ツールのプリンタ管理用 Web ページが表示されます。
- 4 [Configure Printer] をクリックします。



プリンタドライバの設定
ページが表示されます。



設定項目

Finishing Options

項目	設定内容
OHP 合紙	<p>OHP フィルムを印刷するときに合紙をはさんで排出します。用紙種類で「OHP フィルム」が選択されているときに設定できます。</p> <p>設定は「オフ」、「白紙」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。</p>
エッジ強調	<p>文字、グラフィック、イメージのエッジを強調して小さい文字を見えやすくします。カラー選択が「グレースケール」のときに設定できます。</p> <p>設定は「オフ」、「オン」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。</p>
カラーマッチング (写真)	<p>原稿内の写真のカラー画質を調整します。</p> <p>設定は「自動」、「鮮やか」、「写真」、「色差最小」から選択します。デフォルトの設定は「自動」です。</p>
カラーマッチング (文字)	<p>原稿内の文字のカラー画質を調整します。</p> <p>設定は「自動」、「鮮やか」、「写真」、「色差最小」から選択します。デフォルトの設定は「自動」です。</p>
カラー設定	<p>選択した原稿に適した画質で印刷します。</p> <p>設定は「文書」、「写真」、「DTP」、「Web」、「CAD」から選択します。デフォルトの設定は「文書」です。</p>
カラー設定 (図表グラフ)	<p>原稿内の図表グラフのカラー画質を、文字または写真のどちらかの設定に合わせます。</p> <p>設定は「自動」、「文字の設定にあわせる」、「写真の設定にあわせる」から選択します。デフォルトの設定は「自動」です。</p>
カラー選択	<p>印刷する色を、カラーまたはグレースケールに設定します。</p> <p>設定は「フルカラー」、「グレースケール」から選択します。デフォルトの設定は「フルカラー」です。</p>
グレー補償 (写真)	<p>原稿内の写真のグレー補償をオン / オフします。</p> <p>設定は「自動」、「オフ」、「オン」から選択します。デフォルトの設定は「自動」です。</p>

項目	設定内容
グレー補償 (文字)	<p>原稿内の文字のグレー補償をオン / オフします。</p> <p>設定は「自動」、「オフ」、「オン」から選択します。デフォルトの設定は「自動」です。</p>
スクリーン (写真)	<p>原稿内の写真のスクリーン処理を設定します。</p> <p>設定は「自動」、「階調優先」、「解像度優先」、「文字優先」から選択します。デフォルトの設定は「自動」です。</p>
スクリーン (文字)	<p>原稿内の文字のスクリーン処理を設定します。</p> <p>設定は「自動」、「階調優先」、「解像度優先」、「文字優先」から選択します。デフォルトの設定は「自動」です。</p>
ステープル	<p>ステープルを設定します。ステープルの数と位置を指定できます。</p> <p>設定は「オフ」、「左コーナー」、「右コーナー」、「2点」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。</p>
スムージング (写真)	<p>原稿内の写真のスムージング処理を設定します。</p> <p>設定は「自動」、「オフ」、「強い」、「普通」、「弱い」から選択します。デフォルトの設定は「自動」です。</p>
スムージング (図表グラフ)	<p>原稿内の図表グラフのスムージング処理を、文字または写真のどちらかの設定に合わせます。</p> <p>設定は「自動」、「文字の設定にあわせる」、「写真の設定にあわせる」から選択します。デフォルトの設定は「自動」です。</p>
トナー節約	<p>印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。</p> <p>設定は「オフ」、「オン」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。</p>
パンチ	<p>パンチを設定します。パンチの数を指定できます。</p> <p>設定は「オフ」、「2穴」、「3穴」、「4穴」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。</p>
ページ割付	<p>小冊子印刷を行います。</p> <p>設定は「オフ」、「小冊子」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。</p>

項目	設定内容
印刷種類	両面印刷を行う場合に設定します。 設定は「片面」、「両面」から選択します。デフォルトの設定は「片面」です。
画像シフト	印刷イメージを全体にずらして印刷します。 設定は「オフ」、「オン」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。
解像度	解像度を設定します。本ドライバーでの設定は「600 dpi」のみです。
開き方向／とじ方向	両面印刷時のとじ方向を設定します。 設定は「左とじ」、「上とじ」、「右とじ」から選択します。デフォルトの設定は「左とじ」です。
光沢モード	光沢効果を加えて印刷します。 設定は「オフ」、「オン」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。
合紙用トレイ	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。 設定は「オフ」、「トレイ 2」、「トレイ 3」、「トレイ 4」、「トレイ 5」、「トレイ 4（大容量）」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。
仕分け	仕分けを設定します。 設定は「オフ」、「オン」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。
出力方法	文書が 1 部出力された後、一時停止して確認できる確認印刷を指定します。 設定は「通常印刷」、「確認印刷」から選択します。デフォルトの設定は「通常印刷」です。
折り	折り方について設定します。 設定は「オフ」、「中とじ」、「中折り」、「センターステップル」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。
折り目消し	中とじ設定時、折り目部分に印刷をしません。 設定は「オフ」、「オン」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。

項目	設定内容
排紙トレイ	<p>用紙を排出するトレイを設定します。装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。</p> <p>設定は「デフォルト」、「トレイ 1」、「トレイ 1/ビン 5」、「トレイ 2」、「トレイ 2/ビン 6」、「トレイ 3」、「ビン 1」、「ビン 2」、「ビン 3」、「ビン 4」から選択します。デフォルトの設定は「デフォルト」です。</p>
表カバー	<p>表紙を付けて印刷します。給紙トレイで「自動」以外の設定が選択されているときに指定できます。</p> <p>設定は「オフ」、「印刷」、「白紙」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。</p>
表カバー用トレイ	<p>表紙を給紙するトレイを選択します。装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。</p> <p>設定は「オフ」、「トレイ 1（手差し）」、「トレイ 1」、「トレイ 2」、「トレイ 3」、「トレイ 4」、「トレイ 5」、「トレイ 4（大容量）」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。</p>
裏カバー	<p>裏表紙を付けて印刷します。給紙トレイで「自動」以外の設定が選択されているときに指定できます。</p> <p>設定は「オフ」、「印刷」、「白紙」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。</p>
裏カバー用トレイ	<p>裏表紙を給紙するトレイを選択します。装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。</p> <p>設定は「オフ」、「トレイ 1（手差し）」、「トレイ 1」、「トレイ 2」、「トレイ 3」、「トレイ 4」、「トレイ 5」、「トレイ 4（大容量）」から選択します。デフォルトの設定は「オフ」です。</p>

General

項目	設定内容
ソート (1部ごと)	複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。 デフォルトの設定は「オン」です。
給紙トレイ	給紙元のトレイを選択します。装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。 設定は「トレイ 1 (手差し)」、「トレイ 1」、「トレイ 2」、「トレイ 3」、「トレイ 4」、「トレイ 5」、「トレイ 4 (大容量)」、「Auto」から選択します。デフォルトの設定は「トレイ 1 (手差し)」です。
用紙サイズ	印刷する用紙サイズを設定します。
用紙種類	印刷に使用する用紙種類を選択します。給紙トレイが「Auto」のときのみ変更できます。 給紙トレイが「Auto」以外の場合、設定の場合は、「給紙トレイ別用紙設定」で登録されている用紙種類になります。

Options Installed

項目	設定内容
サドルキット	装着しているオプションを設定します。 設定は「なし」、「インストール済み」から設定します。
ハードディスク	装着しているオプションを設定します。 設定は「なし」、「インストール済み」から設定します。
パンチキット	装着しているオプションを設定します。 設定は「なし」、「PK-515 (2 穴)」、「PK-515 (2/3 穴)」、「PK-515 (4 穴)」、「PK-501 (2 穴)」、「PK-501 (2/3 穴)」、「PK-501 (4 穴)」から設定します。
メールピンキット	装着しているオプションを設定します。 設定は「なし」、「インストール済み」から設定します。

項目	設定内容
給紙ユニット	装着しているオプションを設定します。 設定は「なし」、「PC-106」、「PC-205」、「PC-406」から設定します。
排紙ユニット	装着しているオプションを設定します。 設定は「なし」、「FS-519」、「FS-519+OT-602」、「FS-609」から設定します。

Banners

項目	設定内容
Starting Banner	開始バナーページを選択します。 設定は「none」、「classified」、「confidential」、「secret」、「standard」、「topsecret」、「unclassified」から選択します。デフォルトの設定は「none」です。
Ending Banner	終了バナーページを選択します。 設定は「none」、「classified」、「confidential」、「secret」、「standard」、「topsecret」、「unclassified」から選択します。デフォルトの設定は「none」です。

PS Binary Protocol

項目	設定内容
PS Binary Protocol	特殊な制御文字を除く、全てのデータをバイナリ（8ビット）形式で送信します。 設定は「None」、「TBCP」から選択します。デフォルトの設定は「none」です。（TBCP = Taged Binary Communications Protocol の略）

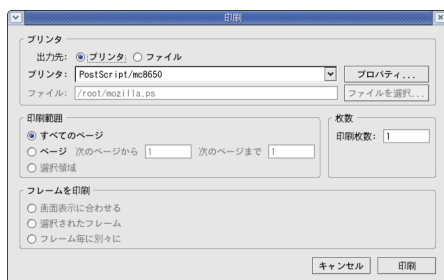
文書を印刷する

アプリケーションによって、印刷ダイアログおよび印刷設定ダイアログの内容が異なります。

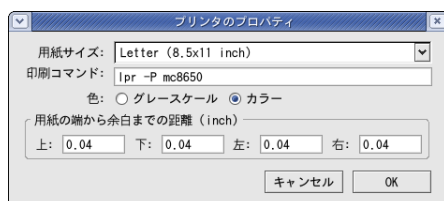
LPR コマンドを使用する場合

OpenOffice 以外の場合、下記の印刷ダイアログが表示されます。

- 1 印刷ダイアログの「プロパティ」をクリックします。



- 2 印刷プロパティダイアログが表示されます。



- 3 印刷コマンドの入力欄に「lpr -P」と入力して、プリンタ名を追加し、[OK] をクリックします。
印刷ダイアログに戻ります。

- 4 印刷ダイアログで「印刷」をクリックして、文書を印刷します。

OpenOffice の場合



下記は、Red Hat Enterprise 4 上で OpenOffice 1.1.5 を使用した場合の手順です。お使いの OS のバージョンによっては下記の手順と操作が異なる場合があります。



あらかじめ KO8650JX.ppd を使用して、システムにプリンタを追加しておいて下さい。プリンタをシステムに追加する方法については、「プリンタの追加」(p.19)をごらんください。

1 プリンタの管理 (spadmin) を起動します。

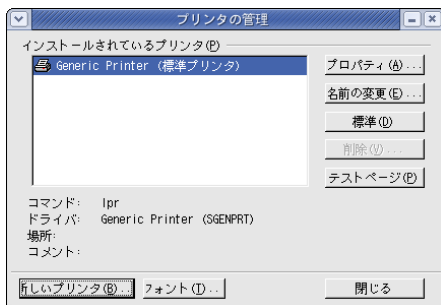
プリンタの管理ダイアログが表示されます。



起動は、OpenOffice.org 1.1.5 をインストールしたディレクトリに移動し、「./spadmin.bin」と入力し [Enter] を押します。

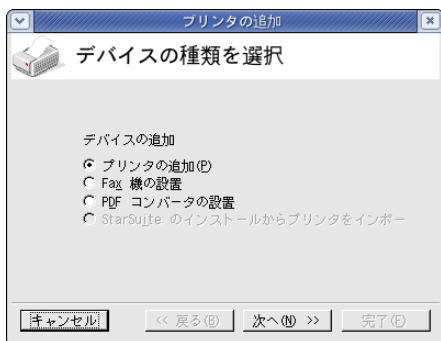
2 [新しいプリンタ] をクリックします。

プリンタの追加ダイアログが表示されます。

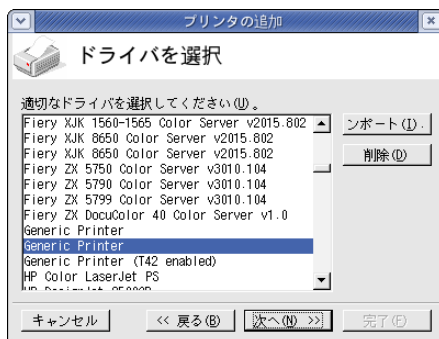


3 [プリンタの追加] が選択されていることを確認して、[次へ] をクリックします。

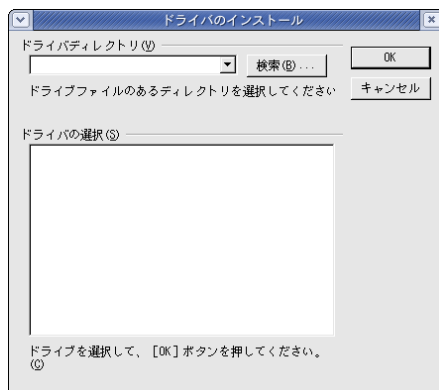
ドライバの選択ダイアログが表示されます。



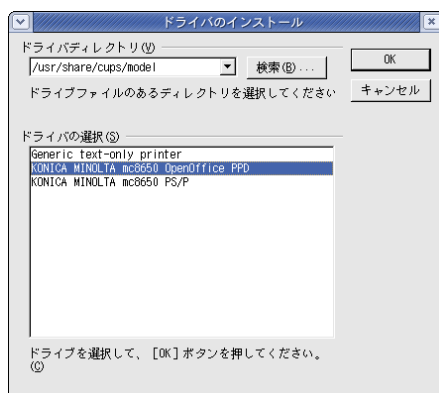
- 4 [インポート] をクリックします。
ドライバのインストールダイアログが表示されます。



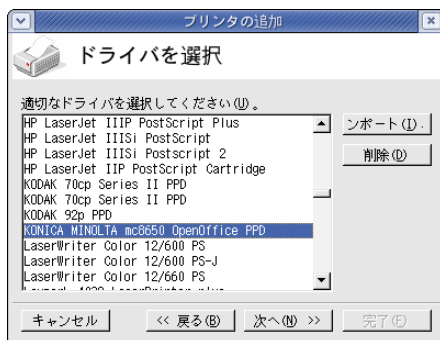
- 5 ドライバのディレクトリに
“usr/share/cups/model/” と
入力し、[検索] をクリック
します。




- 6 「ドライバの選択」 リストから、「KONICA MINOLTA
mc8650 OpenOffice PPD」
を選択し、[OK] をクリッ
クします。

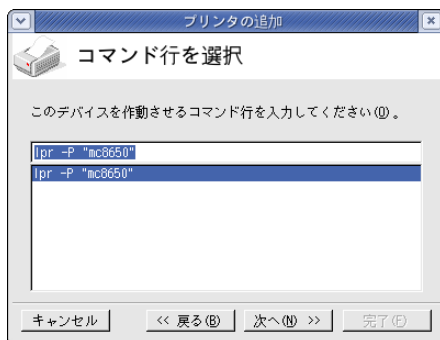


- 7 KONICA MINOLTA mc8650
OpenOffice PPD を選択し
て、[次へ] をクリックしま
す。

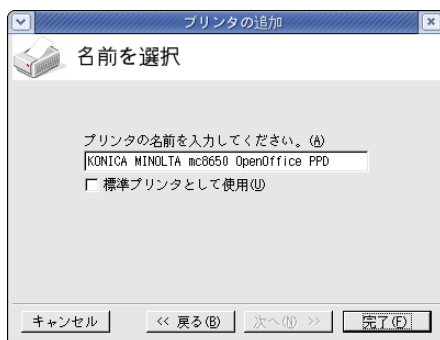


- 8 リストに表示されるコマン
ドを選択し、[次へ] をク
リックします。

 表示されない場合は、
"lpr -P" と入力してく
ださい。



- 9 プリンタ名を変更します。



- 10 [完了] をクリックします。
プリンタの管理ダイアログに戻ります。
- 11 [閉じる] をクリックします。

- 12 OpenOffice1.1.5 がインストールされたフォルダに移動し、OpenOffice を起動します。



Red Hat Enterprise 4 標準の、OpenOffice1.1.2 が存在する状態で、アプリケーションから「オフィス」－「OpenOffice.org Writer」等を選択した場合、OpenOffice1.1.2 の OpenOffice が立ち上がりますので、ご注意ください。

- 13 OpenOffice のメニューから [印刷] をクリックします。

印刷ダイアログが表示されます。

- 14 「プリンタの管理」で登録したプリンタの名前を選択します。



- 15 [OK] をクリックします。

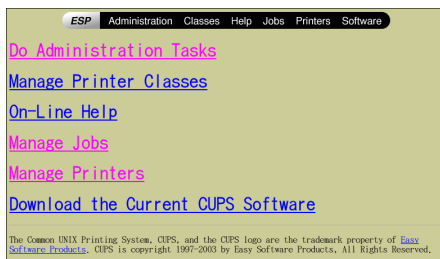


印刷ジョブの確認

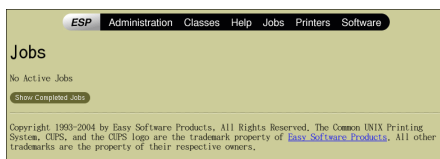
ブラウザからプリントジョブを確認することができます。

- 1 ブラウザを起動します。
- 2 URL に“<http://localhost:631>” と入力し、[Enter] を押します。
CUPS Administration Web Page が表示されます。
- 3 [Manage Jobs] をクリック
します。

現在の有効なジョブが表示
されます。



印刷を終了したジョ
ブを確認するときは、
[Show Completed
Jobs] をクリックし
ます。



トラブルシューティング

症状	対応・処置
プリンタがサイズエラーもしくはタイプエラーで止まってしまう。	ペーパーサイズとメディアタイプなどが禁止されている組み合わせで送信されている可能性があります。はがきや OHP は普通紙モードでは印字できません。
カスタムペーパーサイズで印字できない。	<p>カスタムペーパーサイズはドライバから直接印字できません。コマンドラインからのみの印字をサポートしています。以下の様に指定することによりデータを印字できます。lpr -P [プリンタ名] -o media=Custom. [WIDTH × LENGTH] [ファイル名]</p> <ol style="list-style-type: none"> Custom. [WIDTH × LENGTH] のフォーマット : Custom.150 × 200 mm、Custom.8 × 11 in、Custom.15 × 20 cm、Custom.612 × 782 (postscript ポイント) データのファイル形式は PS、PDF、JPEG が対応
OpenOffice やその他オフィス系アプリケーション (Kword など) で正しく印字できないことがある。	<p>Linux 上のアプリケーションはアプリケーション自体が印字に関する設定を独自に持っています。これらの中には本プリンタでサポートされていない機能もあります。以下のように設定場所を使い分けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ アプリケーションから設定する項目 : 用紙サイズ、オリエンテーション ■ プリンタドライバ GUI (kprinter) から設定する項目 : 用紙タイプ、トレイ、解像度指定など上記以外
Kword で Watermark が印字できない。	Kword のバグです。オーバーレイをご使用ください。